

なんつって、裏の柴荷のどごさ焚ぎ物取りさ行ったら、

「ワンワン」

つて、犬の鳴き声すんだど。

「あら何だべえ」

なんと思つたら、その焚ぎ物荷の陰にお爺じんちゃ犬抱いでいらつたど。

「あら何だよお爺じんちゃ、こんなどごに何してだのまあ」

「ん、いや布売りさ行つただげんじよ、ひとつつも売んにえぐつてまあ、銭じえになんねがつたがらがっかりして、もう悪りど思つてここにいだだあ」

なんて。

「んなどごあつかまあ、早く寄つせまあ、大変くたびつちやべ、大変だつたべえ」

「いやいや本ほん当とに売んにえぐつて、しょうがねつていじめらつちえだこの犬ど布取ついで

きつちまつた」